



“ほっと”なネットワーク かんちゃん通信

ちょっと散歩したいなあ号
第22号

2024年 春のうらかな日発行

特集

この秋に10周年を迎えます♪

保護者さんからのメッセージ



「かんちゃんの小さな家」と 出会う」

ホットフィールド 居場所

いろんな入口があるんだよ♪

みんなが集える、
笑顔になれる、つながれる場所

♡ 高校生の長女が小学生だった頃、「かんちゃんホットルーム」によく参加していました。初めておじゃましたのは、沖縄をテーマにしたホットルームでした。三線の音色に癒され、タコライスが美味しくいただき、とても楽しいひとときを過ごしました。♡ その後も、「ホットルーム」に参加し、美味しかった食べ物やおもしろかったゲームは



家でなくても作って、食べたり遊んだりして楽しみました。特にインドネシアのミーゴレンは、子どもたちのお気に入り！「ホットルーム」には、国籍も年齢も様々な人が参加されています。老若男女みんなが集える場所。笑顔になれる、つながれる場所。それが、「かんちゃんの小さな家」です。

♡ この秋で10周年ですね。かんちゃんやスタッフの皆さんの努力のおかげだと思いますが、それに加えて、“かんちゃんの小さな家が、みんなに必要とされている場所なんだ”ということだと思います。私自身もいろいろな「ホットルーム」におじゃまさせてもらったことを思い出していたら、とても懐かしくなりました。また遊びに行きますね。 OY さん(保護者)

かんちゃんの小さな家 5つの輪



特集 “保護者さんからのメッセージ” (4～5面をご覧ください)

- ◇「息子は、ある朝、突然学校に行かなくなった。家にこもるようになった。…」
- ◇「私の『3人の子育て』は、かんちゃんの小さな家とともに歩んできました。…」

(2)

かんちゃんホットルーム

参加者 年間 のべ471人に！

(2023年1月～12月)

コロナ禍だった2022年より大幅に増加！

かんちゃんホットルームは、「だれもが、安心して楽しく過ごせる居場所」として、年9回のペースで継続して開催しています。一昨年は、コロナ禍でホットルームやフェスタを中止したこともあって、参加者は272人でしたが、少しずつにぎやかさを取り戻してきています。

この間の様子を紹介します。皆さん、これからも気軽に参加してくださいね。

“昼食の交流”再開したよ♪

昨年12月から昼食交流を始めています！（これまではテイクアウト、お家で食べてもらっていましたが）12月は、炊きたてご飯を自分で握った「おにぎりときのかじ」、1月は「ホテルニューオウミさん特製のビーフシチュー」でした♪



♥おにぎりときみそ汁、おいしかった！とっても大きなおにぎりを作ったぞ♪

♥とってもラッキー！ニューオウミのビーフシチュー、ごちそうさまでした♪おかわりしたよ！また食べたいです！

♥初めてみんなで食べる会に参加しましたが、ほっこりしました。準備など、いつもありがとうございます。

私たちの居場所 秋から冬

9月	お休み月
第72回 10月	ブラジルの文化を体験しよう♪ 参加者23人 お昼（テイクアウト） レトルトカレー他
第73回 11月	消しゴムはんこで「エコバック」を作ろう 参加者54人 お昼（テイクアウト）十六穀米・カップスープ
第74回 12月	みんなで“ポッチャ”を体験しよう 参加者34人 お昼：おにぎり、 きのかじ・おやつ
第75回 1月	あそび村（パート10）参加者52人 お昼：ビーフシチュー
2月	お休み月
第76回 3月	「第6回人権・多文化共生フェスタ in あづち」（学区まちづくり協議会と共同で開催）参加者132人

会場：安土コミュニティセンター
時間帯：10:30～12:30 フェスタは午後開催



“カーニョ”（湖南省の国際交流グループ）の皆さんと一緒に

ブラジルの文化を体験したよ♪

♥ ブラジルのクイズ、おもしろかった。リズムの時は、初めての楽器もあってこうふんしました。Obrigada！

♥ ブラジルを身近に感じる事ができました。クイズや会話、楽器を通じて、いろんな角度から味わったり楽しんだりできました。





消しゴムはんこ 作って♪押して♪

人気の消しゴムはんこ！今回も伊藤真希さん（長浜市）に教えていただきました。次回は、夏に「うちわにポン！」の予定です。



♥（はんこを）ポンポンおすのが、めっちゃたのしかった。♥消しゴムをほるのがむずかしかったけど、自分のはんこのエコバックができてうれしかった。



いっしょに“ポッチャ”を 体験してみようかい（会）♪



今回も、花王ポッチャ普及支援スタッフの皆さんのサポートによって楽しい体験ができました♪



♥ポッチャで、子どももおとなも高齢者もいっしょに楽しめてよかったです。♥世代を越えて交流できることも、今の時代にはありがたいことです。心がほっこりしました。

かんちゃんあそび村

♥普段、子どもとなかなかゆっくり遊べないのでごく良い時間が過ごせました。



18種目のコーナー・・・自分で選んでチャレンジしました♪新しく登場したコーナーも！52人の参加者とボランティアの皆さん・・・笑顔につつまれ、会場はホットな雰囲気♪



左：フースケットボール・つまめピンポン玉、他 中央：エアサッカー 右：シャッフルボード



保護者さんからのメッセージ

「かんちゃんの小さな家と出会って」

特集

「かんちゃんの家で話すことにより、徐々に光が見え、トンネルから抜け出すことができたと思う。」

♡息子は、ある朝突然学校に行かなくなった。そして、家にこもるようになった。どうしたらいいのかわからず、市の相談窓口に行った。対応して下さった方が、中学校の時に本人を知って下さっていた先生だった。でも年度末の異動で、その方の支援がなくなった。

♡(これからどうしたらいいのだろう)と不安のなかで半年以上が過ぎたころ、かんちゃんの小さな家の佐子先生(実は、私の高校時代の担任の先生)に出会う機会があった。少しずつバイトを始めかけていた息子の現状について相談できた。

それから数か月後、「一度本人を連れておいで」と言ってもらったこともあって、息子と一緒にかんちゃんの小さな家に初めて行った。相談スタッフの中桐さんにも出会えた。あの頃の息子は、顔の表情も硬く、自分の気持ちを話してくれず、何を考えているのかもわからない状況の中どうしてあげたらいいのかもわからなかった。

♡佐子先生と中桐さんと何度か面談するなか、徐々に話すようになっていった。かんちゃんの小さな家の行き帰りの道中、少しずつ話すようになっていった。笑顔も増えていった。



中桐さんの面談の中で「小さな金魚鉢の中で泳いでいるより、もっと大きな海で泳いだ方がいい」という言葉が強く印象に残っている。その後、息子は滋賀から県外へ、県外から海外に出るようになった。あの頃、どこにも居場所がなく、誰とも話すこともなく、このままずっと暗いトンネルを抜け出せなかったら、どうしたらいいのだろうと不安だった。

かんちゃんの家で話すことにより、徐々に光が見え、トンネルから抜け出すことができたと思う。「本人に向き合うこと、いろんな世界があること」を覚えてもらった。

♡長く見守ってくださいました。本人の居場所を一緒に考えてくださり、居場所がどんどん増えていきました。改めて、居場所は大事だと感じます。一番最初に安心できた居場所は、かんちゃんの家でした。

H・H(保護者)

※写真は、初めて「新しい世界」に飛び立ったバスクの地(スペイン)

短信

ありがとうございました! 木製の積み木 300枚



市内の時豊建設様より「木製の積み木(カプラ)」をいただきました♡

さっそく、1月のあそび村のコーナーに登場!かんちゃんの小さな家のプレハブでも、子どもたちが多彩な「作品」づくりを楽しんでいます。



食事交流のボランティアさん お願いできればうれしいです!

コロナ禍ではテイクアウトでしたが、昨年末から“昼食をみんなで食べながら交流する”時間を再開しました。それにともなって、昼食を準備したり、場合によっては子どもたちの調理の活動をサポートしたりする方をお願いします。よければ、かんちゃんの小さな家まで連絡ください。

「私にとっても、 ふらっと寄れる居場所になっていたんですね。」



かんちゃんの小さな家の活動が10年目を迎えられ、おめでとうございます。

♥私の「3人の子育て」は、かんちゃんの小さな家とともに歩んできました。初めて利用させてもらったのは、8～9年くらい前でしょうか、まだ、まさに「かんちゃんの小さな家」(プレハブ)でホットルームをされていたころでした。でも程なくして、コミュニティセンターなど大きな場所を借りて実施されるようになり、どんどん活動が周知されていくのを感じました。

♥ホットルームはいつも魅力的な内容で、異文化交流や多世代間交流がテーマとされることが多く、子どもたちの知らない昔あそびを地域の方から伝えてもらったり、外国から来られた方に文化や音楽を教えてもらったりと、子どもたちにとって“肌で感じる学びがたくさんある場”だと感じています。

また、ボランティアとして関わってくださる学生さんや地域の方にとっても、直接子どもたちとふれ合える場は、きっと元気をもらえる場になっているのではないかと思います。

スタッフやボランティアの皆さんがあたたかく迎え入れてくださるので、我が家の二番目・三番目の子が、一人で出かけられる先となったのも、かんちゃんの小さな家のホットルームでした。かんちゃんの小さな家がめざしておられる「居場所づくり」は、多方面において成功ですね。

♥私自身も子どもの学校のこと、学習のこと、兄弟間のこと、子育てのこと、自分の働き方について…など、思い返せば悩んだ時に話を聞いてもらっていたのはかんちゃんの小さな家でした。私にとっても、ふらっと寄れる居場所になっていたんですね。本当に地域にこういう場所があつてよかったと思います。

これからもこの活動が、20年、30年と続いて行くことを願っています。 H・Yさん(保護者)

話すこと・聴くこと

“スクールソーシャルワーク研究会しが”の研修会より

子どもとの対話を広げていくために

～SSW研究会しが・・・これからも“対話的な学びの場”として～

SSW 研究会しがの例会では、2015 年から毎年RJ(修復的対話)の講座・研修会を開催してきました。そして、数年前からは受講者・経験者が「RJ サークル」を取り入れた子どもたちの関係づくり、学校のクラスづくり、PTA活動などに関心を寄せ、さまざまな領域で生かしていく試みを始めています。

私(池田)が参加させていただくようになったここ数年は、RJ をベースにしつつも、それに加えて、近年医療・福祉領域で注目を集めているオープンダイアログをはじめ、RJ と同様に、お互いを尊重し、対等で安心できる関係を構築するための多様な対話実践へとさらに関心を広げています。

また、この他にも、「子どもアドボカシー」(子ども一人ひとりの声を聴き、子どもと共に声をあげること)や、「マイクロアグレッション」(あり

ふれた日常の中のちょっとした言動に含まれる、相手を傷つけるつもりのない、無自覚の差別)などについても学習しました。

対話と言うと、言葉で自分を表現すること(=話すこと)のほうに注目しがちですが、実は大切なのは、私の常識や一般的な意味での「正しさ」といったことを一旦脇へ置いて、目の前にいる相手が生きている世界にどれだけ関心を寄せ、その声に耳をすますこと(=聴くこと)ができるかということなのだと思います。

この度、10 周年を迎えられる「かんちゃんの家」の活動は、この研究会での学びが元になっているとお伺いしましたが、まさにそうした耳をすます姿勢こそがその活動の原点にあるのだろうと推察します。これからも、それぞれの立場や役割を超えた対話的な学びの場として、SSW 研究会に関わっていければと思っています。

池田華子さん(SSWしが会員:大阪公立大学)



相談ルームのご案内

子育てや学校生活・卒業後の進路等で
困ったこと、気になることがあれば
声をかけてください！

相談スタッフ

- かんちゃん（かんちゃんの小さな家代表
・社会福祉士・スクールソーシャルワーカー）
- まりこさん（親子をつなぐ学びのスペース
・リレイト代表：京都市）

4月14日（日） 13:00～17:30

5月 8日（水） 13:00～17:30

◇定例日以外は、個別に相談に応じます。

◇保護者・支援の方の相談も可（要予約）

◇事前のお問い合わせ先（かんちゃんの
小さな家携帯090-3708-3315）

学びのご案内

主催：スクールソーシャルワーク研究会しが
子ども支援（ケース）学習会

第67回学習会 4月14日（日）

◇会場 かんちゃんの小さな家

◇時間 10:00～12:00

◇事前の申し込みが必要です



SSW研修会（講演と交流会）

6月8日（土） 14:00～16:00

場所：G-NETしが（近江八幡市）

講師：入海英里子さん（日本スクール
ソーシャルワーク協会会長）

「かんちゃんの小さな家 友の会」

入会 よろしくお願ひします

個人会員 1口2,500円・団体会員 1口10,000円

友の会・活動支援カンパの振込口座
振込先銀行 滋賀銀行 安土支店
口座種別 普通 口座番号 403489
口座名称 かんちゃんの小さな家
代表 佐子 完十郎

交流会のご案内

第77回かんちゃんホットルーム

主催 かんちゃんの小さな家

共催 安土学区まちづくり協議会

4月27日（土）

10:30～13:00

会場 安土コミュニティセンター

参加費：子ども100円・おとな300円

◇内容 ヒツジの毛でふわふわボールを作ろう♪
～羊の毛の不思議さを体験しませんか～

◇お昼は、ミネストローネとパンだよ♪

かんちゃんホットルームの予定

5月25日（土）

7月27日（土）

8月31日（土）

*時間は、10:30～13:00です。

せせらぎ（編集後記）

◇前回の21号では、かんちゃんの小さな家の10年をふり返り、年表スタイルの「あゆみ」に整理しました。ホットルームやかんちゃん塾・相談ルームで、最初の頃に出会った小学校高学年の子どもたちは、もう20才前後の若者になっている！早いね♪また、当時のことを聞かせてほしいなあ。“思い出話”楽しみにしているよ。◇今回の22号は、保護者さんから貴重な「出会い」を聞かせていただき、本当にありがとうございました！保護者さんからも、この間の“思い出話”ぜひ聞かせてくださいね。◇昨年、1年間のかんちゃん相談ルームでは、のべ約70人の方々との「出会い」がありました。昨年は、中学校卒業後の高校や進路先での悩みが半数を超えていました。ひき続き、協働・伴走者（サポーター）として一緒に考えさせてもらえれば、と思っています。（か） 

※次号「第23号」は、10月の発行予定です！

♥「かんちゃんの小さな家 ホームページ」

<https://kancyan-house.com/>



ホットフィールド 子ども・若者支援 ヒューマンネット

かんちゃんの小さな家

〒521-1351 滋賀県近江八幡市安土町常楽寺956-2

携帯 090-3708-3315（代表 佐子） FAX 0748-46-3283

e-mail srmq61299@nike.eonet.ne.jp

